



「AI・ロボットと人間の未来社会学」

学 習 院 大 学

【 法学部 政治学科 教授 遠藤薫】

研究者紹介

東京大学教養学部基礎科学科卒業⇒東京工業大学大学院博士課程修了(社会学, 博士(学術))

専門領域: 社会システム論・社会情報学(メディア社会学)・計算社会科学

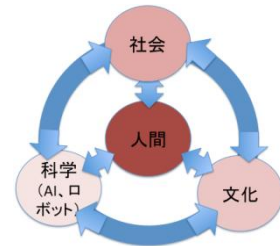
日本学術会議第一部会員社会学委員長/社会学系コンソーシアム理事長/横幹連合前副会長

【キーワード: AI(人工知能)、ロボット、仮想現実、科学技術史、比較文化(欧米・アジア・日本)】

本研究の目的・内容

いま、ロボットやAIに大きな注目が集まっている。しかし、ロボットやAIにそそがれるまなざしは様々であり、また、ロボットやAIが人間たちの未来に及ぼすかもしれない影響の範囲も茫漠と広がっている。ロボットやAIは、私たちの似姿であり、明日の世界で、人間の私たちの素敵なパートナーになっているかもしれない。そんな明日を実現するために、未来の人間とロボットについて、特に**社会学的な立場**から考える。

つまり、AIやロボットなどの先端技術を右の図のように、人間が古代から営々と築いてきた社会や文化の歴史のなかに位置づけることで、AI・ロボットと人間社会の「共進化」を考えようとするものである。



本研究の新規性・優位性、成果の応用・活用

AIやロボットについての議論は、科学技術的な観点からのものがほとんどである。しかし、自動運転や人間の労働を代替するAI/ロボットなどが日常生活に浸透しつつある現在、具体的な社会制度や社会的行為としてこれらをどう位置づけるかが重要になっている。本研究は、まさにここに注目する。また、ロボットやAIに対する意識が、文化によって大きく異なることにも着目し、多様な文化とロボット・AI観の関係についても考察し、望ましい未来を検討する。

主な研究業績

【論文】「人工物観と日本文化—時計技術はなぜ人形浄瑠璃を生んだか」、『横幹』2007年、他多数

【著作】『廃墟で歌う天使』(現代書館, 2014年)

・『ロボットが家ににやってきたら・・・—人間とAIの未来』(岩波書店, 2018年), 他多数

【招待講演】『創られるパートナー ~ あなた+ロボット=幸せ?』(2015年3月、未来設計会議)

・サイエンスカフェ「人工知能とわたしたち、ともに進化しませんか?」: (2017年3月、文部科学省)、他多数

応対できる研究・企業等への希望

- 1.共同研究 2.受託研究/評価試験 3.学術指導/コンサルティング 4.講演/出張講義
5.寄付金受入 6.報道等の取材/出演 7.その他()

研究者より:

公式サイト <http://kaoruendo.com>もご参照ください。

【お問い合わせ】

学習院大学 研究支援センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL: 03-5992-1228 Mail: Ken9-off@gakushuin.ac.jp

URL: <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/research/index.html>



学習院大学 広報大使

さくまサン

©12/18 GAKUSHUIN